

# 内線規程 J E A C 8001-2000(211 頁)

## 3102-2 異なる配線方法相互の接続

1. がいし引き配線と他の配線方法との間で電線を接続する場合を除き、異なる配線方法の配線相互を接続する場合は、ボックス、カップリング及びコネクタなど適当な接続器具(いずれかの配線方法の付属品)を使用して行なうこととし、両者を機械的、電氣的(合成樹脂管など金属製以外の場合を除く。)に完全に接続しなければならない。
2. 異なる配線相互の電線を接続する場合は、接続部分を損傷及び露出しないように施設し、かつ、接続箇所を点検できるように施設しなければならない。
- 〔注〕異なる配線方法相互の接続例を示すと、3102-3 表のとおりである。

3102-3 表 異なる配線方法相互の接続例

配線方法	金属管配線	合成樹脂管配線	金属製可とう電線管配線	金属線び配線	合成樹脂線び配線	フロアダクト配線	セルラダクト配線	金属ダクト配線	ライティングダクト配線	バスダクト配線	平形保護層配線	ケーブル配線
金属管配線 (3110 節)												
合成樹脂管配線 (3115 節)												
金属製可とう電線管配線 (3120 節)												
金属線び配線 (3125 節)					-					-	-	
合成樹脂線び配線 (3130 節)				-		-	-	-	-	-	-	
フロアダクト配線 (3135 節)					-				-	-	-	
セルラダクト配線 (3140 節)					-				-	-	-	
金属ダクト配線 (3145 節)					-				-	-	-	
ライティングダクト配線 (3150 節)					-	-	-	-		-	-	
バスダクト配線 (3155 節)					-	-	-	-	-		-	
平形保護層配線 (3160 節)					-	-	-	-	-	-		
ケーブル配線 (3165 節)												

〔備考〕記号の意味は次のとおりとする。

- (1) は、一般的に接続するもの。  
 (2) - は、一般的に接続しないもの。

# 内線規程 J E A C 8001-2000(213頁)

3102-1 図 異なる配線方法相互の接続例

